

【広島県消費者物価指数】

1 平成22年11月の動向

- 広島県総合指数(100.5)は前月比は4か月ぶりの下落。前年同月比は2か月連続で上昇した。
- 生鮮食品を除く総合指数(100.2)は前月比で3か月ぶりの下落。前年同月比は11か月連続で下落した。
- 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数(98.0)は前月比で同水準。前年同月比は11か月連続で下落した。

2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数

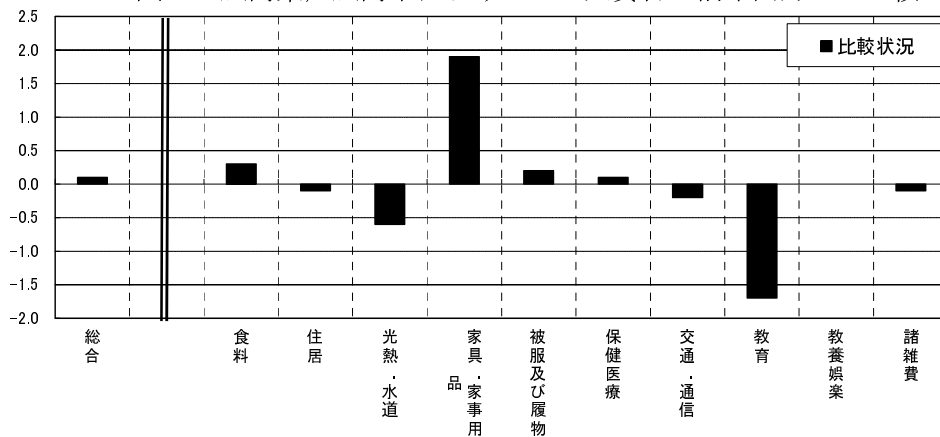
	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.5	▲0.3	0.2
生 鮮 食 品 を 除 く 総 合 指 数	100.2	▲0.1	▲0.5
食 料 (酒 類 を 除 く) 及 び エ ネ ル ギ ー を 除 く 総 合 指 数	98.0	0.0	▲0.8

3 広島県と広島市における指数(前年同月比)の比較状況

広島県, 広島市における10大費目の前年同月比の比較表

		総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比	【広島県】(%)	0.2	1.8	▲0.4	2.4	▲4.6	0.8	0.5	▲0.1	▲13.5	▲1.6	6.1
	【広島市】(%)	0.1	1.5	▲0.3	3.0	▲6.5	0.6	0.4	0.1	▲11.8	▲1.6	6.2
比較状況(県-市)(ポイント)		0.1	0.3	▲0.1	▲0.6	1.9	0.2	0.1	▲0.2	▲1.7	0.0	▲0.1

図3 広島県, 広島市における10大費目の前年同月比の比較



前年同月比に対する乖離が最も大きかった10大費目

家具・家事用品(前年同月比差: 1.9ポイント)

教育(前年同月比差: ▲1.7ポイント)

10大費目で, 乖離が大きかった中分類項目

家庭用耐久財(前年同月比差: 3.4ポイント 等)

授業料等(前年同月比差: ▲2.8ポイント 等)

前年同月比が一致した10大費目: 教養娯楽